

欧米言語文化研究 Fortuna (2009-) 総目次 (学会化後)

—最新号から 20 号まで—

学会化以前の創刊号~19 号 (1989~2008 年) までの目次については「ふぉーちゅん (1989-2008) 総目次」をご覧ください。歴代編集委員については最終頁に記載されています。

欧米言語文化研究 Fortuna No. 35 (2024)

[論 文]

イギリス文学

ルソーの『社会契約論』を通してハズリットを読む……………藤井 晶宏 3

[研究ノート]

英語教育学

画像生成 AI を用いたイラスト付き小学生向け英語辞書の提案
……………佐藤 亮輔・福谷 遼太・本間 里美 17

[翻 訳]

コニングズビー (第 5 巻 第 6~8 章)
……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・関田 朋子訳) 31
月蝕 (2)……………ヴラジミール・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 47

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2023 年)……………59
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………66
欧米言語文化学会役員……………70
第 15 回年次大会報告……………72
欧米言語文化学会規約……………74
Fortuna 投稿規定……………76
執筆者紹介……………87
編集後記……………88
表紙の言葉……………小林 英美 90

欧米言語文化研究 Fortuna No. 34 (2023)

[論 文]

英 語 学

日本語の名詞語彙的複合語について……………佐藤 亮輔 3

to 不定詞の目的用法と意図性……………	関田 誠	21
----------------------	------	----

イギリス文学

愛猫溺死事件——Thomas Gray の Ode について……………	植月恵一郎	35
John Keats, ‘Ah! ken ye what I met the day’ におけるバラッド体験……………	鎌田 明子	57
『バーナビー・ラッジ』における裁き……………	吉田 一穂	73
“I washed my face and hands”—Pygmalion における「視線」……………	松本 望希	87
ジョージ・オーウェル『一九八四年』に関する考察 ——なぜチャリントン氏はガラスの文鎮の破片を給わせたのか……………	高橋 一馬	99

比較文学

白骨観の系譜……………	岸田 緑溪	113
-------------	-------	-----

[研究ノート]

英語教育学

Popularity and Perceived Effectiveness in Online Teaching in Japan…	Tekka Chang	125
---	-------------	-----

[原典研究]

アースキン・コールドウェル「苺の季節」を読む ——教室で読む英文学 (9)……………	奥井 裕	133
「苺の季節」アースキン・コールドウェル……………	(奥井 裕訳)	153
コールドウェルの「苺の季節」について……………	奥井 裕	157

[翻訳]

コニングズビー (第 5 巻 第 4～5 章) ……………	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・関田 朋子訳)	167
月蝕 (1)……………	ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳)	179

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2022 年)……………	193
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	206
欧米言語文化学会役員……………	209
第 14 回年次大会報告……………	210
欧米言語文化学会規約……………	212
執筆者紹介……………	214
編集後記……………	213
表紙の言葉……………	小林 英美 215

欧米言語文化研究 Fortuna No. 33 (2022)

[翻 訳]

コニングズビー (第5巻 第1章、第2章)	
……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳)	3
コニングズビー (第5巻 第3章)	
……………ベンジャミン・ディズレイリ (閑田 朋子訳)	15
人間それとも非人間 (6)……………ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳)	23

[エッセイ]

邦題に潜むもの—海外作品の印象をミスリードする可能性……………横山ミィ子	29
--------------------------------------	----

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2021 年)……………	37
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	46
欧米言語文化学会役員……………	50
第12回年次大会報告……………	51
欧米言語文化学会規約……………	52
<i>Fortuna</i> 投稿規定……………	54
執筆者紹介……………	63
編集後記……………	66
表紙の言葉……………小林 英美	68

欧米言語文化研究 Fortuna No. 32 (2021)

[論 文]

アメリカ文学

<i>The Sound and the Fury</i> Emergent themes in Faulkner's depiction of Dilsey……………Yoshihiro Kato	3
---	---

イギリス文学

『ハード・タイムス』 —バウンダビー氏とグラッドクラインド氏の類似点と相違点—……………吉田 一穂	13
--	----

[翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第13章、第14章)	
……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳)	29
コニングズビー (第4巻 第15章、第16章)	
……………ベンジャミン・ディズレイリ (閑田 朋子訳)	40
人間それとも非人間 (5)……………ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳)	53

故大石健太郎先生を偲ぶ	奥井 裕	59
-------------	------	----

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2020 年)		63
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧		67
欧米言語文化学会役員		71
第 12 回年次大会報告		72
欧米言語文化学会規約		74
<i>Fortuna</i> 投稿規定		76
執筆者紹介		87
編集後記		88
表紙の言葉	小林 英美	91

欧米言語文化研究 Fortuna No. 31 (2020)

[論 文]

イギリス文学

同性愛と同性愛嫌悪そして両面価値的境界

——E・M・フォースター作「生垣の向こう側」	高坂 徳子	25
------------------------	-------	----

比 較 文 化

宮沢賢治とポール・デルヴォー

——絵画と文学をシュールレアリスムの視点から比較する——	堀内 克丸	17
------------------------------	-------	----

[研究ノート]

英 語 教 育

The Effects of a Pilot Extensive Reading Program on Increasing English Ability and Motivation to Read in English in Upper Mid-Level Private Senior High School in Japan	Tekka Chang	41
---	-------------	----

[翻 訳]

コニングズビー (第 4 巻 第 11 章、第 12 章)

.....ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・関田 朋子訳)	55
人間それとも非人間 (4).....ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳)	71

[エッセイ]

忘れられた作家たち (7)

——アンブローズ・ビアス、超絶の技巧——	大石健太郎	81
----------------------	-------	----

[前名誉顧問 出口保夫先生追悼文]

鎌倉、遠く……………小林 英美 87

ふおーちゅん (1989-2008)・欧米言語文化研究 Fortuna (2009-) 総目次……………89

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2019 年)……………114

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………123

欧米言語文化学会役員……………127

第11回年次大会報告……………128

欧米言語文化学会規約……………129

Fortuna 投稿規定……………131

執筆者紹介……………142

編集後記……………143

表紙の言葉……………小林 英美 146

欧米言語文化研究 Fortuna No. 30 (2019)

[論 文]

イギリス文学

『ミドルマーチ』

—〈妻として夫を援助すること〉とドロシアの二回の結婚……………吉田 一穂 3

E. M. フォースター作「^{マシーン}機械が止まる」における「本」の象徴的意味について

……………高坂 徳子 17

英語教育

English Elementary Level Education in Japan: The need for Certifying ALTs

……………Tekka Chang 29

[翻 訳]

コニングズビー (第4巻 第9章)……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 35

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録 (2018 年)……………43

欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………49

欧米言語文化学会役員……………52

第10回年次大会報告……………53

欧米言語文化学会規約……………54

Fortuna 投稿規定……………56

執筆者紹介	67
編集後記	68
表紙の言葉	小林 英美 72

欧米言語文化研究 Fortuna No. 29 (2018)

〔翻 訳〕

コニングズビー (第4巻 第7～8章)	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 3
人間それとも非人間 (3)	ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 15

〔諸 報〕

年次大会・例会研究発表の記録 (2017年)	23
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	34
欧米言語文化学会役員	37
第9回年次大会報告	38
欧米言語文化学会規約	39
<i>Fortuna</i> 投稿規定	41
執筆者紹介	52
編集後記	53
表紙の言葉	小林 英美 55

欧米言語文化研究 Fortuna No. 28 (2017)

〔論 文〕

比 較 文 学

Dickens and Poe	Takayuki Mizuno 3
-----------------	-------------------

〔翻 訳〕

コニングズビー (第4巻 第6章)	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 15
人間それとも非人間 (2)	ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 21

〔諸 報〕

年次大会・例会研究発表の記録 (2016年)	31
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	41
欧米言語文化学会役員	45
第8回年次大会報告	46
欧米言語文化学会規約	47

<i>Fortuna</i> 投稿規定	49
執筆者紹介	60
編集後記	61
表紙の言葉	小林 英美 63

欧米言語文化研究 Fortuna No. 27 (2016)

〔論 文〕

英 語 学

構文の意味と言語内外の要因との相互作用—言語理論と教育の接点—	川崎 修一 3
---------------------------------	---------

イギリス文学

ハズリットと「抽象的な」ロンドン	藤井 晶宏 25
------------------	----------

アメリカ文学

Katherine Anne Porter, “Theft” における盗みを引き起こすもの	加藤 良浩 37
---	----------

〔翻 訳〕

コニングズビー (第4巻 第5章)	ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子訳) 47
シャーロットをさがして	ニール・ゲイマン (横山 孝一訳) 53
人間それとも非人間	ヴラジーミル・テンドリャコフ (内山 昭一訳) 65

〔エッセイ〕

忘れられた作家たち (6) Rex Warner (9 March 1905-24 June 1986)	大石健太郎 77
--	----------

〔諸 報〕

年次大会・例会研究発表の記録 (2015 年)	83
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	93
欧米言語文化学会役員	96
第7回年次大会報告	97
欧米言語文化学会規約	98
<i>Fortuna</i> 投稿規定	100
執筆者紹介	102
編集後記	103
表紙の言葉	小林 英美 108

欧米言語文化研究 Fortuna No. 26 (2015)

[論 文]

英 語 学

- DP 内 there 生起仮説による場所句倒置構文の分析……………小堂 俊孝 3

イギリス文学

- 『メアリ・バートン』における父親と娘の階級意識……………吉田 一穂 25
「音楽家小説」としての *The Picture of Dorian Gray*……………中村 仁美 41

アメリカ文学

- キャサリン・アン・ポーター「花咲くユダの木」
—なぜ主人公ローラは再び眠ることを恐れるのか—……………加藤 良浩 53

比 較 文 学

- Depictions of Hyperreality in *White Noise* and *Nineteen Eighty-Four*……………Naoki Kondo 65

[翻 訳]

- コニングズビー (第4巻 第3章～第4章)
……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・閑田 朋子訳) 81
小さなメモリアル……………ジェイソン・ジェリーズ (横山 孝一訳) 97

[エッセイ]

- 忘れられた作家たち (5)
Katharine Burdekin (Kay Burdekin, Murray Constantine, 1896~1963) ……大石健太郎 99

[諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録 (2014 年)……………105
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………111
欧米言語文化学会役員……………114
第6回年次大会報告……………115
欧米言語文化学会規約……………116
Fortuna 投稿規定……………118
執筆者紹介……………120
編集後記……………121
表紙の言葉……………小林 英美 124

欧米言語文化研究 Fortuna No. 25 (2014)

巻 頭 言

- 文学研究のタイプ論あるいは真冬の夜の夢……………松田憲次郎 3

特 別 寄 稿

- 二人のイギリス人……………井内雄四郎 5

〔論 文〕

イギリス文学

- ディケンズの『憑かれた男』を読む……………水野 隆之 15

英語圏児童文学

- Roles of “Mistress Mary, Quite Contrary” in *The Secret Garden*
……………Mana Kawashima 21

〔原典研究〕

- ウィリアム・サマセット・モーム「帰郷」(“Home”)を読む
—教室で読む英文学 (8) —……………奥井 裕 33
「帰郷」……………ウィリアム・サマセット・モーム (奥井 裕訳) 54
サマセット・モームの「帰郷」(“Home”)について
—人生を肯定するモームの温かい面がよく出た傑作—……………奥井 裕 59

〔翻 訳〕

- コニングズビー (第3巻 第5章、第4巻 第1章～第2章)
……………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・閑田 朋子訳) 67
「よそのもの」……………ジェーン・ストーン (横山 孝一訳) 81

〔エッセイ〕

- 忘れられた作家たち (4) L.P. ハートリー……………大石健太郎 91

- 『ふぉーちゅん』(1989-2008)・『欧米言語文化研究 Fortuna』(2009-) 総目次……………95

〔諸 報〕

- 年次大会・例会研究発表の記録 (2013 年)……………115
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………122
Fortuna 投稿規定……………125
欧米言語文化学会役員……………127
第5回年次大会報告……………128
執筆者紹介……………129
編集後記……………130

表紙の言葉	小林 英美	132
-------	-------	-----

欧米言語文化研究 Fortuna No. 24 (2013)

[論 文]

英 語 学

英語聖書における外国語の影響	佐藤 勝	3
----------------	------	---

イギリス文学

コウルリッジの『生命論』—人と動物を分けるものは何か—	直原 典子	15
『ダーバヴィル家のテス』		
—エンジェル・クレラとテスの過去—	吉田 一穂	33

英語圏児童文学

『トムは真夜中の庭で』にみられる伝承童謡の影響	山田 真	45
-------------------------	------	----

[原典研究]

ウィリアム・サマセット・モーム「アリとキリギリス」を読む

—教室で読む英文学(7)—	奥井 裕	55
「アリとキリギリス」	ウィリアム・サマセット・モーム (奥井 裕訳)	75
サマセット・モームの「アリとキリギリス」について		
—人生の意味について考えさせられる大人のための寓話—	奥井 裕	79

[翻 訳]

コニングズビー (第3巻 第2章～第4章)

…………ベンジャミン・ディズレイリ (杉田 雅子・大竹麻衣子・関田 朋子訳)	87
乳母車……………ロディ・ドイル (横山 孝一訳)	113

[エッセイ]

忘れられた作家たち(3) エリザベス・テイラー	大石健太郎	137
-------------------------	-------	-----

[諸 報]

年次大会・例会研究発表の記録(2012 年).....	141
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧.....	147
<i>Fortuna</i> 投稿規定.....	152
欧米言語文化学会役員.....	154
第 4 回年次大会報告.....	155
執筆者紹介.....	156
編集後記.....	157
表紙の言葉.....小林 英美	160

欧米言語文化研究 Fortuna No. 23 (2012)

[論 文]

応用言語学

- 英語場所句倒置構文をめぐる疑問……………山田 七恵 3

イギリス文学

- 「双子」の想像力の行方—エミリとアンの「ゴンドル」詩試論—……………田村 裕二 19
『オリヴァ・トウィスト』—二人の悪党たちとその末路—……………吉田 一穂 33

アメリカ文学

- キャサリン・アン・ポーター「昼酒」における主人公トンプソンの悲劇が示唆するもの
……………加藤 良浩 45

比較文学

- 異文化体験—ラフカディオ・ハーンの場合—……………甲田 亜樹 59
文学による〈革命〉として—佐藤春夫「美しき町」とホイッスラーの芸術論
……………山中 千春 1

[原典研究]

ローリー・コルウィン「パーカー先生」を読む

- 教室で読む英文学 (6) —……………奥井 裕 75
「パーカー先生」……………ローリー・コルウィン (奥井 裕訳) 93
ローリー・コルウィンの「パーカー先生」について
—多様な解釈の可能性を秘めた珠玉の小品—……………奥井 裕 99

[翻 訳]

コニングズビー (第2巻 第5章～第7章・第3巻 第1章)

- ……………ベンジャミン・ディズレイリ (大竹麻衣子・杉田 雅子・閑田 朋子訳) 117

[エッセイ]

- 忘れられた作家たち (2) レナード・メリック (1864. 2.21.～1939. 8.7.) ……大石健太郎 145
『戦争大臣』のこと……………遠藤 徹 149

[諸 報]

- 年次大会・例会研究発表の記録 (2011 年)……………151
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………154
Fortuna 投稿規定……………161
欧米言語文化学会役員……………163
第3回年次大会報告……………164
執筆者紹介……………187

編集後記	188
表紙の言葉	小林 英美 191

欧米言語文化研究 Fortuna No. 22 (2011)

[論 文]

外国語教育学

The Use of Chance Devices in the Language Classroom	Elena Ando 3
---	--------------

イギリス文学

『オリヴァー・トゥイスト』における語り手とオリヴァーの関係について	水野 隆之 21
『マーティン・チャズルウィット』	
一利己主義とその影響、そして国際著作権問題	吉田 一穂 33

アメリカ文学

Being Politically Incorrect: Paula Vogel and Her Dramaturgy	Mao Naito 45
---	--------------

[原典研究]

ウィリアム・サマセット・モーム「約束」を読む	
——教室で読む英文学 (5) ——	奥井 裕 63
「約束」	ウィリアム・サマセット・モーム (奥井 裕訳) 98
サマセット・モームの「約束」について	奥井 裕 105

[翻 訳]

コニングズビー (第2巻 第2章～第4章)	
……ベンジャミン・ディズレイリ (関田 朋子・杉田 雅子・大竹麻衣子訳)	113
親友の手は離さない	デボラ・シャウス (横山 孝一訳) 133

[エッセイ]

忘れられた作家たち (1) ダヴィッド・ガーネット	大石健太郎 137
---------------------------	-----------

[諸 報]

執筆者紹介	143
年次大会・例会研究発表の記録 (2010 年)	144
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧	149
<i>Fortuna</i> 投稿規定	154
欧米言語文化学会役員	156
第2回年次大会報告	157
編集後記	158

表紙の言葉	小林 英美	161
-------	-------	-----

欧米言語文化研究 Fortuna No. 21 (2010)

特別寄稿

由良君美氏と美術史	木村 三郎	3
-----------	-------	---

〔論 文〕

英 語 学

A Reconsideration of the Word Order <To Not Do>	Tadao Nomura / Donald L. Smith	5
Time-away 構文・結果構文・Way 構文に見られる構文間の関係	阿部 明子	17

イギリス文学

『バーナビー・ラッジ』における個人と群衆	吉田 一穂	33
----------------------	-------	----

アメリカ文学

“My Kinsman, Major Molineux” における一考察		
—Robin の独立への旅を中心に—	西山 里枝	45
“The Ambitious Guest” —未来への希望と忍び寄る運命—	小松 良江	61
キャサリン・アン・ポーター「マリア・コンセプション」		
—主人公の曖昧な立場をめぐって—	加藤 良浩	71

〔原典研究〕

フィリパ・ピアス『ふしぎなヒマワリ』を読む		
—教室で読む英文学 (4) —	奥井 裕	87
『ふしぎなヒマワリ』	フィリパ・ピアス (奥井 裕訳)	116
『ふしぎなヒマワリ』について	奥井 裕	128

〔翻 訳〕

コニングズビー (第1巻 第11章・第2巻第1章)		
……ベンジャミン・ディズレイリ (閑田 朋子・杉田 雅子・大竹麻衣子訳)		135
神様のような人に出会う	リチャード・セルツァ (横山 孝一訳)	165
「つめてくれよ！」	ジェフリー・パットノウド (横山 孝一訳)	166
おじ貴のバイオリン	スティーヴン・バート (横山 孝一訳)	167

〔エッセイ〕

神秘の島 “ジュラ” —太古の遺跡の眠る島—	大石健太郎	171
女優ジョディ・フォスターの軌跡		
—父親のいない娘から夫のいない母親へ—	横山 孝一	177

『ネル』のこと	遠藤 徹	189
執筆者紹介		191
大会・例会研究発表の記録(2009年)		192
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧		196
<i>Fortuna</i> 投稿規定		201
欧米言語文化学会役員		203
編集後記		204
表紙の言葉	小林 英美	207

欧米言語文化研究 Fortuna No. 20 (2009)

まえがき	植月恵一郎	1
------	-------	---

特別寄稿

英語力・注釈・作品鑑賞	行方 昭夫	5
サマセット・モームの『作家の手帳』の「序文」を読む	藤野 文雄	7

【論文】

イギリス文学

『鐘の音』の枠組みについて	水野 隆之	13
十九世紀前半の「公」のロンドン		
—ディケンズ、通りそしてコーヒーハウス—	藤井 昌宏	23

時事英語

ニュース英語の一考察—そのレトリックについて	田村 裕二	33
------------------------	-------	----

翻訳論

『翻訳』についての断片的考察	大石健太郎	47
----------------	-------	----

【原典研究】

ウィリアム・サマセット・モーム「物知り屋さん」を読む		
—教室で読む英文学(3)—	奥井 裕	55
「物知り屋さん」	サマセット・モーム(奥井 裕訳)	91
「物知り屋さん」について	奥井 裕	98

【翻訳】

コニングズビー(第1巻 第8章～第10章)		
……………ベンジャミン・ディズレイリ(閑田 朋子・大竹麻衣子・杉田 雅子訳)		105

幸運の写真……………ローリー・ヴォーター・アレン(横山 孝一訳)	123
小さなガラスのかけら……………ベティ・B・ヤングズ(横山 孝一訳)	125
アルフレッドのなぞの微笑み……………アラン・メイリー(横山 孝一訳)	128
執筆者紹介……………	133
大会・例会研究発表の記録(2008年)……………	134
欧米言語文化学会会員 発表著書・論文等一覧……………	137
<i>Fortuna</i> 投稿規定……………	140
欧米言語文化学会役員……………	142
編集後記……………	143
表紙の言葉……………小林 英美	146

歴代編集委員(学会化後)

学会化以前(19号から創刊号まで)の歴代編集委員については「ふぉーちゅん(1989-2008)・総目次」をご覧ください。

第20号(2009年)

編集代表 加賀 岳彦
 副編集長 大石健太郎、奥井 裕
 編集委員 大森 夕夏、近藤 直樹、中村 文紀

第21号(2010年)

編集代表 加賀 岳彦
 副編集長 大石健太郎、奥井 裕
 編集委員 大森 夕夏、近藤 直樹、田村 裕二、中村 文紀

第22号(2011年)・第23号(2012年)

編集代表 加賀 岳彦
 副編集長 大石健太郎、奥井 裕
 編集委員 大森 夕夏、加藤 良治、近藤 直樹、田村 裕二、中村 文紀、野村 忠央

第24号(2013年)・第25号(2014年)

編集代表 加賀 岳彦
 副編集長 大石健太郎、奥井 裕
 編集委員 大森 夕夏、加藤 良治、近藤 直樹、田村 裕二、野村 忠央

第 26 号 (2015 年)・第 27 号 (2016 年)

編集代表 奥井 裕

副編集長 大石健太郎、田村 裕二、野村 忠央

編集委員 阿部 明子、大森 夕夏、加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、藤原 愛

第 28 号 (2017 年)・第 29 号 (2018 年)

編集代表 水野 隆之

副編集長 大石健太郎、田村 裕二、野村 忠央

編集委員 阿部 明子、大森 夕夏、奥井 裕、加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹
藤原 愛

第 30 号 (2019 年)

編集代表 水野 隆之

副編集長 大石健太郎、田村 裕二、野村 忠央

編集委員 阿部 明子、大森 夕夏、加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、藤原 愛

第 31 号 (2020 年)

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、大石健太郎、中垣恒太郎

編集委員 加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、水野 隆之、吉田えりか

第 32 号 (2021 年)

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、中垣恒太郎

編集委員 加藤 良浩、川崎 修一、近藤 直樹、水野 隆之、吉田えりか

第 33 号 (2022 年)

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、中垣恒太郎

編集委員 加藤 良浩、川崎 修一、吉田えりか

第 34 号 (2023 年)

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、中垣恒太郎

編集委員 加藤 良浩、川崎 修一、吉田えりか

第 35 号 (2024 年)

編集代表 藤原 愛

副編集長 阿部 明子、中垣恒太郎

編集顧問 植月恵一郎

編集委員 伊藤由起子、江藤あさじ、加藤 良浩、小堂 俊孝、吉田えりか

歴代記念出版編集委員

10 周年記念論文集編集委員会（『英米文学の原風景—起点に立つ作家たち』（1999 年））

編集委員長 大西 章夫

編集副委員長 奥井 裕、小松 良江

編集委員 江藤あさじ、遠藤 徹、加賀 岳彦、小林 英美、小林 正弘、
横田由起子、横山孝一

20 周年記念論文集編集委員会（『実像への挑戦—英米文学研究』（2009 年））

編集委員長 植月恵一郎

編集副委員長 奥井 裕、閑田 朋子

編集委員 江藤あさじ、遠藤 徹、大石健太郎、大西 章夫、加賀 岳彦、
小林 英美、近藤 直樹、小松 良江、中村 文紀、堀切 大史、
水野 隆之、横山 孝一

30 周年記念出版編集委員会（『多次元のトピカ—英米の言語と文化』（2021 年））

編集委員長 植月恵一郎

編集副委員長 奥井 裕、野村 忠央

編集委員 大森 夕夏、加藤 良浩、近藤 直樹、藤原 愛